

(A01-1) 重力変化を含む力学的ストレスに対する
メカノセンシング機構

研究代表者 成瀬 恵治

研究協力者 藤田 彩乃

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科システム生理学

2018年2月10日より24日まで、「宇宙に生きる」国際活動支援班海外派遣の支援により、米国にて様々な研究者の方々とディスカッションを行いました。その内容を簡単にご報告させていただきます。

(1)University of Illinois at Chicago

塚崎博士にお会いしました。イメージングに関するプロジェクトへの御教授を賜るとともに、海外での研究活動についてなど様々なお話をして頂きました。

(2)Boston University

Biomedical Engineering 教授の Béla Suki 博士の研究室を訪問しました。Suki 教授は細胞活動におけるメカノストレスの影響について研究されており、細胞へのメカノストレスを制御するシステムの構築の方法を御教授頂きました。また、研究室でセミナーを行う機会を頂き、発表・ディスカッションをさせて頂きました。

(3)Mechanobiology Symposium

今回の学会では大学院生の中心のポスターセッションが行われ、活発な意見交換を行うことが出来ました。ここでも、細胞へのメカノストレスを制御する新たなシステムについての知見を得ることが出来ました。

(4)Stanford University

Chemical Engineering において、Alexander Dunn 博士を訪問し、発表・ディスカッションをさせて頂きました。

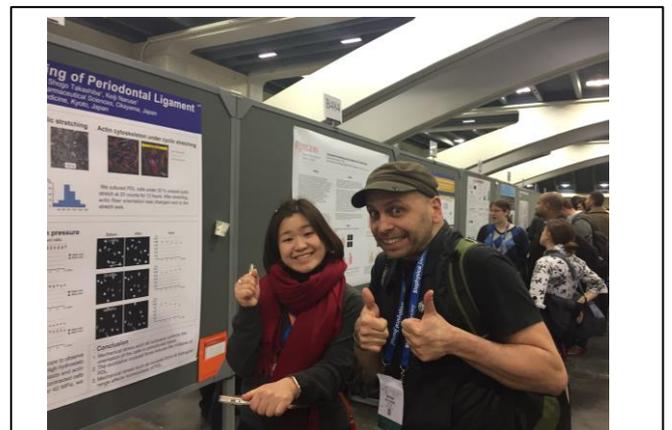
(5)Biophysical Society meeting

今回の学会では自身の研究発表を行うとともに、本研究に関わる情報収集を行ないました。多くの研究者の方々と意見交換を行いました。

最後になりましたが、このような機会を与えて下さった関係者の方々に感謝致します。この経験や交流を生かし、これからの宇宙研究の発展に貢献できるよう努めていきたいと思ひます。



Boston University にて。
右端が Dr. Béla Suki、左端が筆者。



Biophysical Society meeting にて。
研究発表、情報収集を行った。(左、筆者)